

発行日 2008年1月15日

発行所 特定非営利活動法人いこま国際交流協会

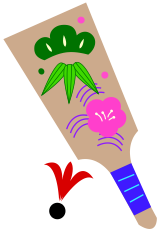
TEL 0743-78-6491

FAX 0743-79-1420

発行者 田渕 五十生

E-Mail info@ikoryu.org

ホームページ www.ikoryu.org



しんしゅん よろこ もう あ
新春のお慶びを申し上げます。

ほんねん ねが
本年もよろしく願います。

-ikoryu-

だい かい
第5回ハロハロ☆ikoryu

し やって みよう・ やって みよう・ 異文化 ~

おんがくさい
「ikoryu音楽祭」のご案内

さくねん がつ れんぞく こうざ
昨年5月にスタートした連続講座「ハロハロ☆
ikoryu」も、いよいよ最終回です。

がいこくじんしみん きかく うんえい こせいゆた ぶんか せいかつ
外国人市民が企画・運営し、個性豊かな文化や生活
を地域住民の皆様と共に体験交流し、毎回新しい
出会いと発見がありました。

そして、その一つ一つの出会いが「ikoryu音楽祭」
につながっていきました。

コリア・中国・ロシア・インドネシア day に続き、
今回の「ikoryu音楽祭」では、世界のさまざまな歌や踊
り、楽器を通して、多文化共生の輪を広げていきま
しょう。

一部は、プロ級の方から子どもたちまで、各自の得意
な楽器や歌、踊りを舞台上で披露する発表会「あなた
も わたしも ミュージシャン!!」。二部では、み
んなで歌って踊って楽しむ、交流の時間をご用意す
る予定です。

げんざい こく こじん かたがた しゅつえん
現在、10カ国、16グループ・個人の方々の 出演
が予定されており、モンゴル、中国、韓国、インド
ネシアなどの民族楽器、バイオリンやドラム演奏、フ
ラダンスに日本の阿波踊りなど、国際色豊かなプロ
グラムになってきました。

どうぞ、お楽しみに!!

しゅつえんしゅ つの
出演者・スタッフ 募ってます!

子どもから高齢者まで、みんなが主役になって楽し
める音楽祭を準備するため、出演者・スタッフを募
っています。ご協力よろしくお願いします。

まずは、ikoryu事務局までご連絡ください。

※第2回準備会を、1月20日(日曜日)午前10時~12時
中央公民館 研修室3 で開きますので、関心の
ある方は、どうぞ自由にご参加ください。

第4回ハロハロ☆ikoryu

インドネシア day に参加して



去る、11月18
(日)、南コミュニ
ィセンターせせら
で、第4回ハロハロ
ikoryu インドネシ
day が開催されま
た。今回は、生駒で

はなかなか味わえないインドネシアの家庭料理を、ア

♪とき：2008年 3月23日(日)
13:00 open 13:30 start ~16:00

♪場所：コミュニティセンター文化ホール(セイセイビル)

♪内容：一部 発表会
「あなたも わたしも ミュージシャン!!」
二部 交流会
「みんなで うたって 踊って 楽しもう!!」

♪参加対象：一般 100名 (定員超過時は抽選)

出演者・スタッフ 100名

♪参加費：一般 500円 (中学生以下は無料)

デさん、ヤユさん、ディアさんたち3人に、それぞれ一品ずつ教えていただきました。

まず、NASI TUMPENG (ナシ トウンペン)という米料理です。お米を水とココナツミルクを入れて煮て、それを蒸し器で30分ほど蒸してできあがりです。三角錐の型に入れ、お皿の真ん中に置き、その周りに数種類のおかずを並べます。子どもたちの誕生日やお祝いの時に作るお料理だそうです。



周りに並べるおかずは、AYAM GORENG KECAP (アヤム ゴレン ケチャップ) と TAHU ISI (タフイシ)です。アヤム ゴレン ケチャップは、骨付きの鶏肉を、まず鶏肉がやわらかくなるまで煮て、次に油でカラッと揚げ、最後にインドネシアのしょうゆ(ケチャップ)・にんにく・レモン汁のソースで和えます。

タフイシは、厚揚げ料理です。厚揚げの中をくりぬき、厚揚げの中身・たまねぎ・もやしなどで野菜炒めを作り、それを厚揚げの中に詰め、最後に天ぷらの衣をつけて揚げる、簡単ですが手の込んだお料理です。



どれもインドネシアのおばあちゃんの味で、とても

ポピュラーなおかずだそうです。

次々と、湯がく、蒸す、揚げる、炒めると、とても大忙しで、アデさんたちから食材の紹介や、家庭料理のお話などいろいろ伺い、メモをとったり、味見したり、目も耳も手も、頭もいっぱい使った料理講習会でした。

イスラムの教えにそった料理作法(鶏肉を調理するときの祈り)や食事のマナーなど、イスラムの世界を身近に体感することができました。

食後は、別室に移り、インドネシアの地図や衣装、楽器などをご紹介いただきました。インドネシアは、13,500の島からなり、現在はインドネシア語を公用語とし、多数の民族語も並存しているそうです。近年は、民族語(地域語)を話せない若者が増えてきたため、教育の見直しや伝承問題も浮上しているそうです。私たちが日本社会が抱えている少数者のエスニシティの問題とつながり、インドネシアの教育事情に関心が高まりました。

アデさん、ヤユさん、ディアさん、お忙しい中ご協力いただき、本当にありがとうございました。ikoryu音楽祭でのアンクルンの演奏を楽しみにしています。(Hwa)

第7回生駒市国際交流の集い

わいわいワールド 開催

12月1日(土)10時から図書館で市教育委員会主催「第7回いこま国際交流の集いわいわいワールド」が開催されました。

市内各地から集まった120名の子どもたちは、6グループに分かれて外国人市民が担当するブース(今回は、ロシア、チェコ、ハワイ、ニュージーランド、コリア、アメリカ)を順々に回り、各国の民族文化や生活、民族の遊び、楽器などを体験しました。



中国にルーツを持つ子どもたちは中国の童謡を3曲みごとに歌い上げまし

その後、舞台では、生駒オリニ会(子ども会)の子どもたちが「チヤンゴ」の演奏や歌を元気いっぱい発表し、



た。続いて、インドネシアの竹製の楽器『アングルン』の演奏、関西クリスチャンスクール



の子どもたちによるカウボーイの踊りなどが次々と披露されました。

最後に、奈良徳島県人会大仏連のみなさんから日本の阿波踊りをならってみんなで楽しく踊りあかしました。



みなさん、お疲れ様、ほんとに、たのしかった〜。

ひつじ通信

- ♪ 冬はどこに、暖冬でもかぜには注意!
- ♪ 市民自治検討委員会の報告は次回に。多様な意見に学びつつ、意見もしっかり出してます。
- ♪ あなたの情報寄せてください。記事募集中!!